

第 6 回夢洲万博関連事業等推進連絡会議及び第 7 回同幹事会(議事要旨)

令和 7 年 1 月 24 日開催

議事

- (1) 夢洲万博関連事業等推進連絡会議設置要綱の一部改正
上記について確認をした。
- (2) 「第 5 回連絡会議及び第 6 回同幹事会」の議事要旨の確認(報告)
上記について確認をした。
- (3) 夢洲関連事業の工事進捗について(報告)
上記について確認をした。
- (4) 大阪・関西万博事業の取り組みについて(報告)
上記について確認をした。
- (5) IR工事における万博への影響低減策(報告)
上記について確認をした。
- (6) 万博工事期間中の交通影響検討
上記について確認をした。
- (7) 万博会場周辺の交通課題と対応案
上記について確認をした。
- (8) 万博開催期間中の交通円滑化に向けた取組みについて
上記について確認をした。
- (9) 夢洲における物流交通対策
上記について確認をした。
- (10) 大阪市道路交通円滑化対策会議の設置について
上記について確認をした。

ご意見

工事期間中、様々な物流対策、道路対策していただいて、工事が比較的円滑に進んだのではないかと。会場は最終局面の追い込み作業を今進めているところ。最後まで気を抜かず、会場内の整備、パビリオンも含めてしっかりと進捗管理をしていきたい。

過去の万博を見ると、開幕から閉幕に向けてどんどん来場者が増えていくという傾向もある。万博来場者の方々の輸送状況を見ながら、公共交通、道路含めて、必要な対策の有無などを協会ははじめ関係機関で相談しながら安全に安心して快適に来場者に来ていただけるようにできればと思っている。

IRについては工事が万博に悪影響がないような形でしっかり進められればと思っている。

追加的な対策ということでお話があった点について、開幕後の交通対策は、万博への評価を左右しかねない大変重要な課題であると改めて思っている。

呼びかけ TDM の話もあった。協力企業がやや伸び悩んでいるというふうにも聞いているので、整備局や運輸局などを通じて、不断の呼びかけなどを引き続き行ってまいりたい。阪神高速の渋滞対策も大変大事だと思う。パークアンドライド駐車場の料金の引き下げと連携をして迂回の呼びかけなど、これも適切に行ってまいりたい。道路上で行われる様々な占用工事の縮減が図られるように、道路管理者として、適切に対応してまいりたい。

追加対策 B のなかで、ゲートの時間の弾力化などがあった。物流事業者に追加対策がうまく伝わるということが大変大事だと思う。対策がうまく伝わるよう引き続きお願い申し上げたい。

港湾整備事業関係では昨年までで咲洲の交差点改良の工事、あるいは舞洲東交差点の立体交差や夢洲幹線道路の拡幅が完了し、夢洲駅までの開業も前倒しということで、準備が整った。万博の開催に向けて、あるいは万博の開催期間中についても、特に、コンテナターミナルの合流する物流車両に関しての緊密な情報共有や連携、大阪港湾局はじめ関係機関との情報共有を図ってまいりたい。

交通円滑化対策会議、それから来場者輸送情報センターの連携を密に行って、最初いろいろと予期せぬことが発生するかもしれないが、必要な対策をどんどん打って、円滑な交通確保ができるようお願いする。

開幕そして閉幕まで、しっかりやっていきたいと思うので、全面的に協力していきたい。

交通の課題については開催に向けて、また開催中のことも考えてしっかり対応していただいている。

この調整会議を通じて、様々な調整が行われて、無事に開会が迎えられそうだ。これからも気を緩めることなく無事閉会を迎えられるよう頑張っていたきたい。

大阪市と協会の取組みを一緒にやることで、基本的には渋滞は起きないと思っているが、万一渋滞が発生した場合には、市と一緒に、道路利用者にきちんと道路の交通混雑状況を伝えていきたい。また、万博パークアンドライド駐車場の予約枠を少しその時間帯だけ減らすことも考えていきたい。

万博開催まで 80 日を切り、バスの運行など、運用テストをきっちりとやっていきたいと考えている。今後とも大阪府・市と連携して、現地で一生懸命頑張っていくので、ご支援、ご協力、よろしくお願い申し上げます。

主要な建築工事は概ね竣工し、内・外装や展示工事など仕上げの段階。海外パビリオンもひと頃の遅れはかなり取り戻している。このような段階を迎えることができたのも、バックヤードの確保などの施工環境改善について、皆様のご助言ご協力のおかげであり感謝申し上げます。開幕に向け、また、閉会後の解体撤去・リユース等についても、しっかりと準備を進めているところである。

実際の交通量は変動があると考えられるので、協会で設置される来場者輸送情報センターが交通情報の集約発信等の役割、機能を果たしていただくようによりしくお願いする。

大阪府としても、阪神高速道路を補完するような府管理道路において、交通状況のモニタリングの実施を検討しており、先ほどの来場者輸送情報センターとも密に連携を行い、不測の事態に備え、しっかり準備を進めていきたい。

工事期間中も大きな問題が発生することなく、ここまでやってこれたと思っている。具体的には夢洲南高架橋、あるいは夢洲駅の完成前倒しをしていただくというようなこともあった。オープンまで事故がないように、しっかりと現場の状況を把握していただいて、体制を維持していただければと思う。

期間中においても、既にシミュレーションのなかで、交通容量のなかで収まっていくという話ではあったが、不慮の、あるいは不測の事態により、交通量が大幅に大きくなってしまったということがあった場合には、博覧会協会の来場者輸送情報センターと大阪府がうまく連携をとって、速やかに実効性のある対応を取っていただければということをお願いしたい。交通拠点であるところからの大規模なシャトルバス輸送、パークアンドライドの大規模な輸送、また TDM、あるいは駐車場予約、そういった壮大な社会実験をこの万博会場で行うことになっており、関係者も非常に注目をしている。後世に残るレガシーを残していただければということを期待している。

以上